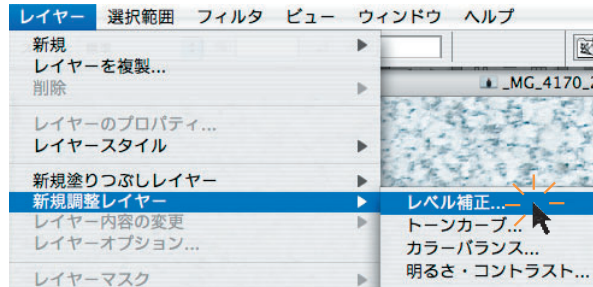


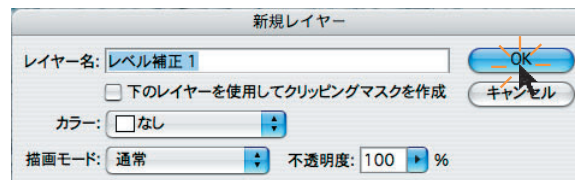
6-13 調整レイヤーを使った補正

画像補正はやり直しがきかない作業だ。しかし、調整レイヤーを使用すると元の画像に手を加えることなく、レベル補正やトーンカーブなどの調整ができる。また、調整はあとからやり直すこともできる。ここでは、調整レイヤーについて説明する。

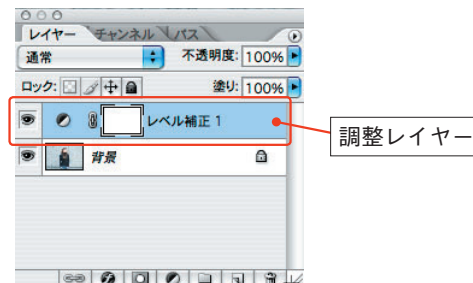
調整レイヤーを使って補正する



- ① メニューバーの [レイヤー] → [新規調整レイヤー] を選んで、目的のレイヤーをクリックする。ここでは、[レベル補正] をクリックする。



- ② 「新規レイヤー」の設定画面が表示されるので、[レイヤー名] を入力し、[OK] ボタンをクリックする。



- ③ レイヤーパレットの [背景] の上に [レベル補正] の調整レイヤーが追加された。

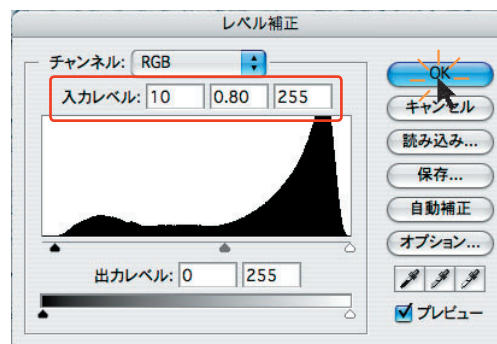
次ページへ続く ➡



④同時に「レベル補正」の設定画面が自動的に表示されるので、通常のレベル補正と同様の作業を行う。この画像はやや露出オーバーなので、最暗部のスライダ▲と中間部のスライダ▲を右にスライドさせて調整する。



補正前



⑤ここでは違いが分かりやすいように、入力レベルの最暗部を0→10、中間部を1.00→0.80にして [OK] ボタンをクリックする。

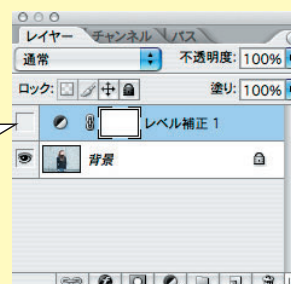


補正後

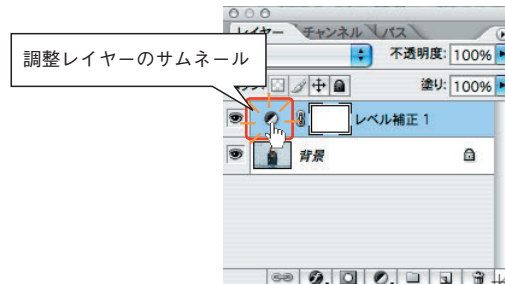
◆ワンポイント

調整レイヤーを使った補正は、一見、通常の補正と変わらないが、調整レイヤーを使用したことにより、レイヤーパレットで調整レイヤーの表示/非表示を切り替えると、補正前のオリジナルの状態をいつでも確認できる。

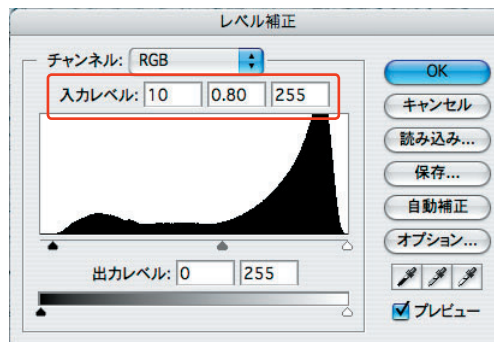
レイヤーの表示：
レイヤーの非表示：



調整レイヤーで補正しなおす



①補正をやり直したい場合は、レイヤーパレットの調整レイヤーのサムネールをダブルクリックする。



②すると、前に補正した設定が保存されたレベル補正の画面が表示されるので、続けて補正を行う。

◆ワンポイント

調整レイヤーには、やり直しがきくほかにも、さまざまな利点がある。

- 複数の画像間で、調整レイヤーをコピー＆ペーストして、調整の設定値を共有、適用できる。
- 調整レイヤーでの調整は、その下にあるすべてのレイヤーに影響するので、各レイヤーを個別に調整しなくても、1つの調整レイヤーで複数のレイヤーを一度に調整できる。
- レイヤーマスク（次項で説明）を設定し、画像を部分的に調整できる。また、マスクの濃度を変えることで、調整力に強弱をつけられる。
- 調整レイヤーの不透明度を下げると、調整の効果を弱めることができる。

ただし、使いすぎるとメモリを大量に消費し、そのまま保存すれば画像サイズも異常に大きくなってしまうため、あくまでも複数画像の統一や試行錯誤の練習用、レイヤーマスクの作成など必要な場合に限って使用することをお奨めする。

